

火災損害申告書 1

年 月 日

消防署長 様

※ 火災番号	
年	号
受付年月日 ・ ・	抜者印

申告者 住所
 職業
 氏名
 関係者との関係 ()
 電話 () -

火災の損害を次のとおり申告します。

り災日時	年 月 日 時 分 頃	り災物件と申告者との関係				
り災場所	所有者 管理者 占有者					
世帯員	続柄 氏名 生年月日	続柄 氏名 生年月日				
	本人					
り災前建物詳細	建築年月 年 月	修繕年月 年 月				
	購入年月 年 月	増改築年月 年 月				
	建築金額 円	修繕金額 円				
	購入金額(土地代除く) 円	増改築金額 円				
	用途 構造 階数 屋根 外壁	建築面積 延べ面積	居住者内訳 世帯数 人員			
り災区分	り災したところ	り災床面積 (㎡)				
り災建物	焼 き	損害見積額				
	爆 発					
	そ の 他					
り災物品	品 名	数 量	り災の区分	経過年数	購入金額	損害見積額
			焼き・爆発・その他			
			焼き・爆発・その他			
			焼き・爆発・その他			
			焼き・爆発・その他			
			焼き・爆発・その他			
損害総合計	建物損害額		物品損害額		総損害額	
	(円) + (円) = (円)					
火災保険	契約会社名	契約の種類	契約年月	契約保険金額		
摘要	(連絡先がり災場所と異なる場合は、この欄に場所、電話番号を記入してください。)					
	(注意) 記入に際しては、注意事項、記入要領を必ずお読みください。					

様式第2号(第34条関係)

注 意 事 項

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、関係者により申告してください。ただし、関係者が申告できない場合は、申告者と関係者との関係を明らかにしてください。
- 3 建物が災した時は棟ごとにこの申請書を作成し、動産だけが災した場合は、太線内に記入してください。
- 4 この申告書は、災があった日から7日以内に提出してください。
- 5 虚偽の申告をされたときは、消防法で罰則を受けることがあります。
- 6 ※欄は記入しないでください。

記 入 要 領

- 1 り災物件と申告者との関係、り災物品のり災の区分は、該当するものを○で囲んでください。
- 2 り災前建物詳細欄の言葉の意味は、次のとおりです。
「用途」・・・ 住宅、物置、店舗等、建物の使用目的のこと
「構造」・・・ 木造、鉄骨造、準耐火、耐火等、建物構造のこと
「屋根、外壁」・・・ 瓦、モルタル等、その材質のこと
- 3 り災の区分欄で、焼き・爆発・その他の意味は、次のとおりです。
「焼き」・・・ 火災によって焼けた物、熱による溶融、破損及び煙によりすすけた物等
「爆発」・・・ 爆発現象により受けた破損等
「その他」・・・ 消火のために受けた水損、破損、汚損等並びに煙及び物品の搬出等による破損等
- 4 建物以外(へい類、看板、物干し場等)は、り災物品欄に記入してください。
- 5 世帯員の欄には、同居人も含めて記入してください。
- 6 その他不明な点がありましたら

_____消防署_____出張所 電話() _____

までお問い合わせください。